

平和に関する信仰的宣言【平和宣言】

(交読用)

日本バプテスト連盟

ぜん ぶん
前 文

「^{へいわ}平和をつくりだす^{ひと}人たちは、さいわいである」と^{しゆ}主イエスは^い言われる。

しかし^{いま}今、^{せかい}世界は^{てきい}敵意に^み満ちている。

^{さつりく}殺戮と^{ほうふく}報復が^は果てしなく^く繰り返され、

^{ぜつぼう}絶望が^{しはい}支配しようとしている。

^{じゆうじか}十字架の^{しゆ}主イエスは^{せかい}この世界において^{さば}審きと^{わかい}和解を^な為し、^{かいほう}解放と^{へいわ}平和を^つ告げ知らせ、^{わたし}私^{わたし}たちを^{ふつかつ}復活のいのちへと^{みちび}導かれる。

^{わたし}私たちは^{しず}静まって^{ちんもく}沈黙し、^{しゆ}主イエスの^{こえ}声に^き聴く。

(一同)^{きようかい}教会は^{すく}救われた^{もの}者の^む群れとして^{おうとう}応答に^い生きる。

^{かみ}神は^{どれい}奴隷の^ち地エジプトから^{ひとびと}人々を^{かいほう}解放し、^{じつがい}十戒を^{あた}与え、^{すく}救いの^{できごと}出来事に^{おうとう}応答して^い生きることを^{めい}命じた。

^{しゆ}主イエスは^{じゆうじか}十字架と^{ふつかつ}復活を^{とお}通して^{りつぼう}この律法を^{じようじゆ}成就された。

それゆえ^{わたし}私たちは^{じつがい}十戒を^{しぶん}死文と^か化してはならない。

^{きようかい}教会は^{じつがい}十戒を^い生きる。

この世界の中で^{せかい}主の^{なか}ことばに^{しゆ}従って^{したが}平和を^{へいわ}創り出して^{つく}いくために、
^{にほん}日本^{れんめい}バプテスト^{かめい}連盟に^{わたし}加盟する^{わたし}私たちは

^{しゆ}主の^{めぐ}恵みに^{あずか}与りつつ、^{しゆ}主の^い戒めに^{せいげん}生きることを宣言する。

1. ^{わたし}私たちは^{しゆ}主イエスに^{したが}従う

^{じゆうじか}十字架の^{めぐ}恵みを受けた^う私たちは^{わたし}主イエスに^{しゆ}従う。^{したが}

^{しん}信じる^{もの}者は^{ふくじゆう}服従へと^め召され、^{しゆ}主イエス^{いがい}以外の^{そくぼく}すべての束縛から^{かいほう}解放される。

(一同)^{しゆ}主イエスへの^{ふくじゆう}服従こそが、^{わたし}私^{しゆう}たちを^{しゆう}自由にする。

だいつかい
第一戒 あなたはわたしのほかに、なにもものをも神^{かみ}としてはならな
い。

わたし しゆ みかお あお み
私たちは主イエスの御顔をのみ仰ぎ見る。

わたし みこえ き
私たちは御声をのみ聴く。

わたし みずか ほこ じゆうじか しゆ ほこ
私たちは自らを誇ることをせず、十字架の主イエスを誇る。

わたし みこころ いの
私たちは御心のままにと祈る。

わたし しゆ いがい し こころまず もの い
私たちは主イエス以外を知らない心貧しき者として生きる。

わたし せい へいわ みいだ
私たちはこの生に平和を見出す。

わたし しゆ なに ふくじゆう
2. 私たちは主イエスのほか何ものにも服従しない

しゆ ふくじゆう いつさい たい ふくじゆう きよひ
主イエスへの服従はそのほか一切のものに対する服従の拒否である。

ふふくじゆう ともな ふくじゆう え
不服従を伴わない服従はあり得ない。

(一同) 主^{しゆ}に服従^{ふくじゆう}する私^{わたし}たちは自分^{じぶん}自身^{じしん}にとって最^{もつと}も大切^{たいせつ}なもの
さえも断念^{だんねん}する。

だいにかい
第二戒 あなたは自分のために刻^{きざ}んだ像^{ぞう}を造^{つく}ってはならない。

こつか みんぞく けいざい とみ しゆうきやうてきせいじてきけんい
国家、民族、イデオロギー、経済、富、宗教的^{しゆうきやうてきせい}政治的^{せいじ}の権威^{けんい}、

じゆう せいぎ どうとく りようしん かんじやう かんかく
自由と正義、道徳、良心、感情、感覚、

せいめい じぶん じしん あい もの
生命、自分自身、そして愛する者たち。

これら一切は、服従^{ふくじゆう}の対^{たい}象^{しやう}ではない。

(一同) 私^{わたし}たちはこれらを神^{かみ}に仕立^{した}て上げ、これらにひれ伏^ふし仕^{つか}え
ることをしない。

だいさんかい 第三戒 あなたはあなたの^{かみ しゆ な}神、主の名を、みだりに^{とな}唱えてはならない。
い。

きようかい ^{かみ みこころ かた}教会は神の御心を騙ってはならない。

^{きようかい かみ な りよう ぼうりよく ほうふく せいぎ たたか こうてい}教会が神の名を利用して、暴力や報復、正義の戦いを肯定することは許されない。

だいよんかい 第四戒 安息日を覚えてこれを^{せい}聖とせよ。

^{れいはい よ くべつ ふくじゆう}礼拝をこの世と区別しないとき、服従してはならないものへの服従が始まる。

^{れいはい しゆ ふくじゆうこうい よ たい だんねん}礼拝は主イエスへの服従行為であり、この世に対する断念である。

^{わたし れいはい だいいち}(一同) 私たちは礼拝を第一とする。

3. ^{しゆ したが わたし ころ}主イエスに従う私たちが殺さない

^{しゆ かいほう い わたし わたし ころ}主イエスによって解放され生かされた私たちが、もはや殺すことができない。

^{ころ わたし ふくじゆう ふくじゆう}もし殺すなら、私たちは服従してはならないものに服従するのであり、^{しゆ めぐ ひてい}主の恵みを否定するのである。

^{しゆ かいほう い わたし わたし ゆる あい}主によって解放され生かされた私たちが、もはや赦すこと、愛すること、^{わ あ い ゆる}分かち合うこと、生かすことしか許されてはいない。

^{きようかい}教会はただそれらのことにおいて主^{しゆ ふくじゆう}に服従し、主の恵み^{しゆ めぐ}を喜ぶ。

だいがかい
第五戒 あなたの父と母を敬え。

しゅ
主イエスによって解放され生かされた私たちは、年老いて弱さの
なか
中におかれた者たちを尊ぶ。

せんそう じだい い かち もの ころ
戦争の時代、生きる価値がないとされた者たちは殺される。

わたし かれ とも い せんそう かちかん きよひ
私たちは彼らと共に生きることによって戦争の価値観を拒否する。
きようかい せんそう やく た む い
教会は戦争の役に立たない群れとして生きる。

だいろつかい
第六戒 あなたは殺してはならない。

しゅ
主イエスによって解放され生かされた私たちは、他者を殺しその
そんざい ひてい ころ
存在を否定することができない。殺しのあるところに平和はない。

わたし ころ
私たちは殺さない。

ぐんび
軍備のあるところに平和はない。

わたし ころ そな ひてい
私たちは殺すための備えを否定する。

せんそう きようりよく
戦争に協力するところに平和はない。

わたし ころ たいせい きようりよく
私たちは殺すことにつながる体制づくりに協力しない。

ぼうりよく
暴力のあるところに平和はない。

わたし ぼうりよく せいとうせい ひてい
私たちは暴力の正当性を否定する。

しゅ したが きようかい てき あい もの いの
(一同)主に従う教会は敵を愛し、迫害する者のために祈る。

第七戒 あなたは姦淫してはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、姦淫することができない。

姦淫は人が性的欲望を持って他者の尊厳を侮辱することである。

戦争は姦淫を正当化する。姦淫のあるところに平和はない。

私たちは姦淫をしない。教会は性の領域においても他者の尊厳を冒さない。

第八戒 あなたは盗んではならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、盗むことができない。

しかし神が造られたこの世界は、常に搾取と収奪にさらされ盗まれ続けている。

搾取と収奪は一部の富める者と多くの貧しい者たちを生み出し、紛争の要因となっている。

富める者は自らの権益を守るため戦争をする。

搾取と収奪のあるところに平和はない。

私たちは盗まない。教会は神が与えた恵みを分かち合う。

第九戒 あなたは隣人について偽証してはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、偽証することができない。

偽証は自己保身と悪の正当化の手段である。

歴史に対する偽証はアジアの隣人との和解を妨害してきた。偽証のあるところには平和はない。

私たちは偽証をしない。

主イエスの赦しを受けた私たちは、もはや保身のための偽証を必要としない。

教会は罪をありのままに告白することによって隣人との和解を願う。

第十戒 あなたは隣人の家をむさぼってはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、むさぼることができない。

一切を独占しようとする私たちのむさぼりが、隣人を傷つけ、世界を破壊し、戦争を引き起こしている。

死者さえもむさぼられ戦争の道具とされる。

むさぼりのあるところには平和はない。私たちはむさぼらない。

国、力、栄え、一切は神のものである。

教会は一切を神に捧げ、奉仕に生きる。

けつ 語
結 語

きょうかい せんそう きょうりよく
教会は戦争に協力した。

わたし じつかい まも
私たちは十戒を守らなかった。

さらに主イエスが十字架においてこの罪さえも赦し、応答に生きる
ために復活のいのちを与え給うたにもかかわらず、私たちはこの恵
みを理解しなかった。

ゆる ゆる えい しまし まも ひつよう かんが
赦された故に主の戒めを守る必要がないとさえ考えた。

こうして私たちは主イエスの恵みを安価なものにしてしまった。

そしてイエスは今日も十字架の上からそのような私たちを召
しておられる。

きよくげんじょうきょう ぼうりよく せいとうか わたし ゆうわく
極限状況は暴力とその正当化へと私たちを誘惑する。

しかしたとえそれが愛する者を守るための暴力であっても、
その暴力行為によって私たちは主イエスの十字架の下で審か
れる。

(一同) わたし しゆ さば ゆる じつかい い
私たちは主の審きと赦しのもとで十戒を生きるしかない。

きょうかい しゆ したが
教会は主イエスに従う。

きょうかい しゆ いがい だんねん
教会は主イエス以外のものを断念する。

きょうかい よわ とうと
教会は弱いものを尊ぶ。

きょうかい ころ
教会は殺さない。

かんいん めす
姦淫しない。盗まない。

ぎしやう
偽証をしない。むさぼらない。

しゅ イエスの十字架の和解はすでに成し遂げられた。

ぜつぼう やみ か わたし ふつかつ
絶望の闇はこれに勝たなかった。私たちは復活のいのちに
あずか へいわ つく だ
与り、平和を創り出す。

しゅ よ お わたし とも
主は世の終わりまでいつも私たちと共におられる。

お ひ に しゅ てきい さつりく ほうふく ぜつぼう かんぜん お
終わりの日に、主は敵意と殺戮、報復と絶望を完全に終わらせ、
くる もの たちの め から なみだ まつた ぬぐ 去
苦しめられてきた者たちの目から涙を全く拭い去ってくださる。

きようかい しゅ こ とき いた しゅ し つ し わかい
教会は主が来られる時に至るまで主の死を告げ知らせ、和解の
ふくいん にな つづ
福音を担い続ける。

しゅ さきだ ともな われ あら
主イエスよ、先立ちたまえ。伴いたまえ。我らを新たにしたまえ。

せいれい かみ われ へいわ うつわ
聖霊なる神よ、我らをきよめ、平和の器となさせたまえ。

ちち かみ みくに き
父なる神よ、御国を来たらせたまえ。

アアメン、主イエスよ、来たりませ。

(一同) へいわ しゅ き
平和の主イエスよ、来たりませ。

ねん がつ にち にほん れんめいだい かいていきそうかい
2002年11月15日 日本バプテスト連盟第49回定期総会

++++
この冊子の使い方
++++

この冊子は、2002年11月15日、日本バプテスト連盟第49回定期総会で採択された「平和に関する信仰的宣言」(平和宣言)の文言をそのまま交読文の形にしたものです。『新生讃美歌』などに挟んで携帯し、礼拝や集会で共に信仰を生きる確認をいたしましょう。

細字を司式者、太字を会衆が読むというのが最も普通の使い方ですが、会衆が左右に分かれて交互に読むような使い方でもできます。(一同)とあるところは全員で読みます。

この冊子は2ページごとに区切って使えるようにしましたので、全部を読む時間がないときは、いずれかの見開きを選んで用いることができます。主日ごとに2ページずつ読んで1か月で全体を読むことも考えられます。

この冊子を通して私たちが平和の主の招きに応えることができますように。

2010年8月
日本バプテスト連盟平和宣言全国推進プロジェクト
委員長 金子千嘉世

平和に関する信仰的宣言【平和宣言】(交読用)

発行日 2010年8月1日

発行者 日本バプテスト連盟平和宣言全国推進プロジェクト
委員長 金子千嘉世

〒336-0017 さいたま市南区南浦和 1-2-4

☎ 048-883-1091

印刷 (有) 青雲印刷

〒803-0841 北九州市小倉北区清水 1 丁目 8-7

☎ 093-561-3128
